

### 3. 小学生



#### 【特性】

小学生になると、読書の喜びを知り、自ら本を読みたいと思うようになります。文字を覚え、徐々に主体的に読書の習慣を身につけていく時期です。

#### 低学年

字が読めるようになったからと一人読みをさせてしまいがちですが、まだまだ文字を追うのが精一杯な時期でもあります。読み聞かせで本の楽しさを知ることで、自ら進んで本に手を伸ばすようになります。

#### 中学年

興味が多様化してくる時期です。物語だけではなく、科学や自然、知識の本を好む子もいます。子どもたち一人ひとりの興味や関心に応じた本を薦めていくことが大切です。

#### 高学年

生活体験が豊かになり、幅広い分野の中から自分の目的に合った本を適切に選択できるようになる時期です。読書離れの始まる時期でもあるため、子どもたちが主体的に本を手に取りたくなるような働きかけが必要です。

#### 【方針】

- おすすめ本の紹介や家読についての啓発を行い、子どもの自主的な読書を促す様々な本との出会いを提供します。
- 地域文庫を設置し、身近な場所で本に触れることのできる環境を整備します。
- 学校図書館担当職員の配置及び蔵書のデータベース化の推進を図り、いつでも身近に本を手にとることのできる読書環境を整備します。
- アニメーション<sup>注3</sup>や読み聞かせ、ブックトーク<sup>注4</sup>等、本を活用した体験や遊びを通じて、本に親しむ機会を提供します。
- パスファインダー<sup>注5</sup>を作成し、レファレンス<sup>注6</sup>や調べ学習の支援強化を図り、学ぶ力を育みます。
- 学校図書館での企画展示の実施と計画的な整備で利用を促進します。
- 児童書を一層充実させて、本と出会う機会を増やします。

注3 アニメーション

読書をゲームとして楽しみながら読解力・表現力・コミュニケーション力を育てる読書指導法。

注4 ブックトーク

一定のテーマを立てて、一定時間内に何冊かの本を複数の聞き手に紹介すること。その目的は「本の内容を教える」ことではなく、「本の面白さを伝える」、「その本を読みたいという気持ちを引き出す」ことである。

注5 パスファインダー

あるテーマに関する資料や情報を探すための手順や調べ方を簡単に紹介した手引きのこと。

注6 レファレンス

利用者の様々な質問に対して必要な資料・情報等を提供し、課題解決の支援を行うサービスのこと。

【アクションプラン】

実施主体	取り組み	区分
家庭	家読タイムの実施	新規
	読み聞かせやふれあい遊びを通じたスキンシップ	継続
地域	出張おはなし会の活用	拡充
子どもと大人が集まる施設	出張おはなし会の活用	新規
	児童館等への地域文庫の設置	拡充
学校	学校図書館担当職員の配置	新規
	蔵書のデータベース化の推進	
	アニメーションの実施	
	学校図書館の蔵書の充実	拡充
	図書委員会の活動の充実	継続
	読書環境の整備	
	ブックトークの実施	
	朝読書や休み時間等を使った読書タイムの実施	
	調べ学習での図書の活用	
	図書だよりの発行	
	生活科や総合的な学習の時間での図書館利用	
	読み聞かせの実施	



育成会事業での出張おはなし会



図書館学級文庫



本を活用した調べ学習



読書アルバム・1000冊表彰

実施主体	取り組み	区分
図書館	パスファインダーの作成	新規
	本を活用した体験プログラムの実施	
	アニメーションの実施	
	児童書の充実	拡充
	学年に応じたおすすめ本の紹介	
	図書館学級文庫の実施	継続
	調べ学習用図書の貸出	
	読書感想文向け図書の紹介と展示	
	学校図書館運営相談の実施	
	ブックトークの実施	
	学校図書館環境整備の支援	
	読書アルバムの配付	
	絵本の読み聞かせ	
	絵本作家による講演会やワークショップの開催	
	図書館司書体験プログラムの実施	
	絵本のおはなし会「たまたまばこ」の実施	
企画展示の実施		



読書環境の整備



図書館司書体験「としよたつ」



工作・自由研究のコーナー

## 4. 中学生



### 【特性】

読書の広がりや深まりが進み、自分で未来を切り拓いていく力を身につけていく時期です。その一方、勉強や部活動、趣味等で読書にける時間が少なくなる傾向が出てきます。読書を習慣づける取り組みや多様な趣味・関心に応じた読書環境の整備が重要となります。

### 【方針】

- おすすめ本の紹介や家読についての啓発を行い、自主的な読書を促す様々な本との出会いを提供します。
- ヤングアダルト<sup>注7</sup>世代の興味・関心を考慮した本の充実と情報発信を行います。
- 学校図書館担当職員の配置及び蔵書のデータベース化の推進を図り、いつでも身近に本を手にとることのできる読書環境を整備します。
- パスファインダーを作成し、レファレンスや調べ学習の支援強化を図り、学ぶ力を育みます。
- 学校図書館での企画展示の実施と計画的な整備で利用を促進します。
- ビブリオバトル<sup>注8</sup>を実施し、新たな本との出会いの機会を創出します。



図書館学級文庫



読書環境の整備

注7 ヤングアダルト

発達心理学で「成人期前期」のことを指し、「公共図書館におけるヤングアダルト（青少年）サービス実態報告」（日本図書館協会・1993）では、13歳から18歳（中学生から高校生の学齢）の利用者と規定されている。

注8 ビブリオバトル

発表者が自分のおすすめ本を持ち寄って5分間で紹介し、観客がどの本が一番読みたくなったかを投票して1位の「チャンプ本」を決定する書評イベント。「知的書評合戦」とも呼ばれる。

【アクションプラン】

実施主体	取り組み	区分
家庭	家読タイムの実施	新規
学校	学校図書館担当職員の配置	新規
	蔵書のデータベース化の推進	
	学校図書館の蔵書の充実	拡充
	図書委員会の活動の充実	継続
	読書環境の整備	
	朝読書や休み時間を使った読書タイムの実施	
	調べ学習での図書の活用	
	図書だよりの発行	
	生活科や総合的な学習の時間での図書館利用	
図書館	パスファインダーの作成	新規
	ビブリオバトルの実施	
	児童書の充実	拡充
	ヤングアダルトコーナーの充実	
	学年に応じたおすすめ本の紹介	
	図書館学級文庫の実施	継続
	調べ学習用図書の貸出	
	学校図書館運営相談の実施	
	学校図書館環境整備の支援	
	職場体験の受け入れ	
	学習室の利用の推進	
企画展示の実施		



学習室の利用の推進



おすすめの本の紹介や展示

## 5. 高校生



### 【特 性】

悩み多き多感な世代で、不読率<sup>注9</sup>が増加する時期です。人生の指針となる本との出会いが、将来に向かっての成長を促すきっかけにもつながることから、身近な友人や先生等からの本を薦める取り組みが大切です。

### 【方 針】

- おすすめ本の紹介や家読についての啓発を行い、自主的な読書を促す様々な本との出会いを提供します。
- ヤングアダルト世代の興味・関心を考慮した本の充実と情報発信を行います。
- 学校図書館担当職員の配置及び蔵書のデータベース化の推進を図り、いつでも身近に本を手にとることのできる読書環境を整備します。
- 団体貸出を行い、本に触れる機会を増加させます。
- パスファインダーを作成し、レファレンスや調べ学習の支援強化を図り、学ぶ力を育みます。
- 学校図書館での企画展示の実施と計画的な整備で利用を促進します。
- ビブリオバトルを実施し、新たな本との出会いの機会を創出します。



図書館の活動の充実



データベース化の推進

#### 注9 不読率

全国学校図書館協議会と毎日新聞社が行っている、全国の小・中・高生を対象にした「学校読書調査」の中で、調査期間の1か月間に「全く本を読まなかった」割合。

【アクションプラン】

実施主体	取り組み	区分
家庭	家読タイムの実施	新規
学校	学校図書館担当職員の配置の推進及び支援	新規
	蔵書のデータベース化の推進及び支援	
	団体貸出の活用	拡充
	学校図書館の蔵書の充実	
	図書委員会・図書局の活動の充実	継続
	読書環境の整備	
	朝読書や休み時間等を使った読書タイムの実施	
	調べ学習での図書の活用	
図書だよりの発行		
図書館	パスファインダーの作成	新規
	学校図書館環境整備の支援	
	ビブリオバトルの実施	
	ヤングアダルトコーナーの充実	拡充
	学年に応じたおすすめ本の紹介	
	学校図書館運営相談の実施	継続
	職場体験の受け入れ	
	学習室の利用の推進	
企画展示の実施		

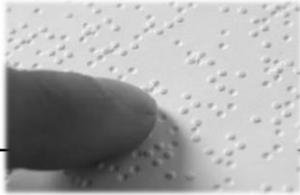


全道高等学校図書研究大会



学校図書室の利用

## 6. 特別な支援を必要とする子ども



**【特性】**  
 特別な支援を必要とする子どもの読書は、個々の状況に応じた対応が必要となります。図書の整備とともに、本に触れる機会を提供することが大切です。

- 【方針】**
- おすすめ本の紹介や家読についての啓発を行い、自主的な読書を促す様々な本との出会いを提供します。
  - 出張おはなし会により、本と親しむ機会を提供します。
  - 点字併記図書や大活字本等の収集を行い、本に触れる機会を提供します。
  - 地域文庫を設置し、身近な場所で本に触れることのできる環境を整備します。

**【アクションプラン】**

実施主体	取り組み	区分
家庭	家読タイムの実施	新規
	絵本の読み聞かせ	継続
子どもと大人が集まる施設	出張おはなし会の活用	新規
	地域文庫の設置	拡充
	団体貸出の活用	継続
学校	図書館学級文庫の活用	継続
	読み聞かせの実施	
	朝読書や休み時間等を使った読書タイムの実施	
図書館	点字併記の図書の収集	新規
	触感を楽しむ絵本の収集	
	大活字本の収集	
	おすすめ本の紹介	拡充
	福祉への理解を深める図書の整備	
	昔話絵本の充実	
	団体貸出の活用	継続
	図書館学級文庫での図書の選書・貸出	
	地域文庫の設置	



触感を楽しむ絵本



点字併記図書

## 7. 子どもをとりまく大人



### 【特 性】

子どもたちはただ本が並んでいるだけでは、手を伸ばそうとはしません。大人の声で本を読んでもあげたり、薦めたり、自らが読む姿を見せることで、子どもたちに「読んでみたい」という気持ちを芽生えさせることができます。子どもを囲む身近な大人が読書の重要性を認識することが、子どもの読書推進には欠かせません。

### 【方 針】

- おすすめ本の紹介や家読についての啓発を行います。
- 子どもの読書の大切さを伝えるために、情報発信や啓発活動を行います。
- 子どもの読書を支える人材を育成・支援します。

### 【アクションプラン】

実施主体	取り組み	区 分
家 庭	家読タイムの実施	新 規
	絵本の読み聞かせ	継 続
地 域	読み聞かせ活動への参画機会の提供	継 続
学 校	読み聞かせ活動への参画機会の提供	継 続
	学校図書館支援ボランティアとの連携	
	図書館との連携	
図書館	保護者への啓発活動の実施	拡 充
	おすすめ本の紹介	
	読み聞かせ講習会の実施	
	学校との連携	継 続
	読み聞かせ機材の貸出	
	読書普及活動への参画機会の提供	
	図書整理・修理の講習会の実施	



親子での読書

おはなし会への短大生の参画

読み聞かせボランティアによる紙芝居の上演